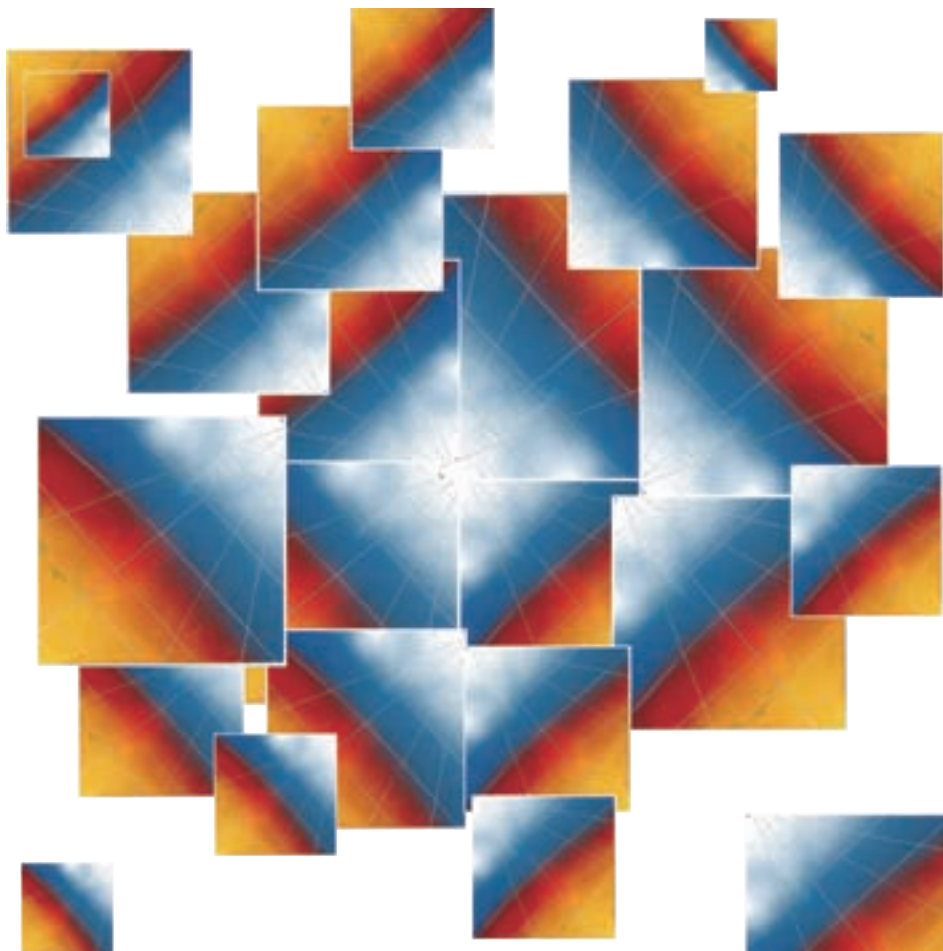


BUSINESS REPORT

第61期事業のご報告

平成23年3月21日～平成24年3月20日



「光」 作 / 増田康行 (営業企画部)

株式会社 **プロルート丸光**
証券コード 8256

収益構造の変革実行により 業績の早期回復へ

代表取締役社長

前田佳央



Q. 当期はどのような1年でしたか。市場環境と業績をお聞かせください。

A. 当期の経済環境は、東日本大震災の落ち込みから回復しつつあるものの、円高の長期化、欧州の債務危機を端緒とした世界経済の減速懸念など先行き不透明な状況が続きました。

衣料品業界では、震災の影響で消費者の購買姿勢がより慎重となったほか、天候不順による消費の実需期の遅れなどを受け、厳しい状況で推移しました。

この結果、当期の連結売上高は198億19百万円（前期比16.9%減）、経常損失は6億54百万円、当期純損失は減損損失20億83百万円を含め、25億80百万円となりました。

Q. 重点的に取り組んだ営業面での施策を教えてください。

A. 当社グループは、主力の前売卸事業で機能性商品の開発に注

力しました。また、アパレル事業部とWEB事業部を再構築しました。前者では小売店様が必要とされる商品づくりを企画段階からサポートし、後者ではネットで販売されるお客様の開拓に努め、いずれも順調な滑り出しとなっています。また、連結子会社のうち、メンズトラッドショップ「ケントハウス」を展開する(株)サンマールではオリジナル商品の開発に注力し、海外生産調達を担う(株)グローバルルートでは商品調達力を強化し収益向上に寄与しています。

Q. 当期に行ったコスト構造の見直しとはどのようなことですか。

A. 物流部門で一部アウトソーシングを進めているほか、仕事の進め方を見直すなどコスト構造の変革を進めてきました。今年2月には、大阪2号館売場を1号館に集約し、顧客の利便性向上を図るとともに、管理コスト削減を実現しました。また、今年4月には大阪2号館の不動産を売却しましたので、新たに生まれたキャッシュ・フローを有効に活用

し、有利子負債圧縮をはじめ財務内容のさらなる改善に努めてまいります。

Q. 来期(第62期)の課題、重点施策は何でしょうか。

A. 引き続き営業面の強化、コストの見直しを徹底的に進めます。営業面では、収益性の高い商品へのシフト、新たな販売チャネルの開拓、アパレル事業のさらなる強化を図る一方、連結子会社とのシナジー効果により収益力の向上を図ってまいります。これら諸施策により業績を大きく飛躍させ、当社グループ3社すべてで黒字化を目指します。

Q. 株主へのメッセージをお願いします。

A. 当期は不本意ながら無配とさせていただきますでしたが、早期に復配を目指す所存です。つきましては、引き続き、皆様のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

担当取締役聞く

営業本部より

価格戦略から 価値戦略へ転換、 「新生プロルート丸光」に

取締役 営業本部長
酒井 光雄



ここ数年、デフレ傾向の中で価格競争に巻き込まれ、本来の当社らしさを発揮する取り組みがおろそかになっていました。来期は価格戦略から価値戦略へと大きく舵を切り、新しい管理手法、考え方をグループ内に植え付けることにより「新生プロルート丸光」として再スタートします。

価値戦略の一つとして、当社が従来から強みを持つ婦人ヤング向けでは、単品で売るのではなく、コーディネート提案をしていくことや上質感がある商品の展開に力を入れていきます。また、売場の鮮度を上げるために在庫回転率を向上させ、月2回の商品入れ替えを目指します。

当期は、大阪2号館を1号館の売場に集約したことでお客様にとっての利便性を向上させました。お客様に手に取っていただきながら販売する前売卸の強みを最大限に発揮していきたいと考えています。

アパレル事業部では商品企画力の強みを生かし、新規顧客として量販店、衣料専門店を開拓するなどしてOEM、ODMに注力します。また、増えつつあるネット販売事業者への販売に対応するためWEB事業部の強化を図ります。

幸い従業員の意識改革が進みつつあります。当面は連結売上高200億円の早期回復を目指します。

管理本部より

コスト変革と グループシナジーを強化、 総力戦で黒字安定化へ

取締役 管理本部長
安田 康一



来期（第62期）からの3年間は、社市の持続的成長の前提となる「黒字安定化」を実現するために「収益力」「コスト」「グループシナジー」を主軸に企業変革を推し進めます。

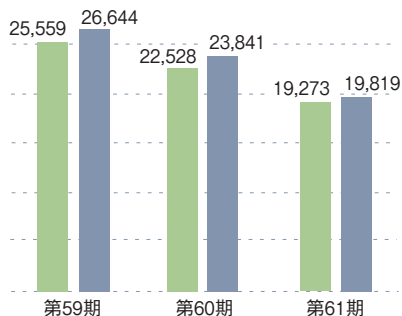
「収益力」では価値戦略をテーマに、成熟した卸市場の中で、商品や販売手法において当社の強み、独自性を強化し利益率の向上を図ります。「コスト」は、当期においてあらゆる経費を見直し販管費前年比17%減（連結）となりましたが、来期もこれを推し進め、更に当期比15%減を実現し筋肉質への改善を加速します。特に当期末に実施した営業拠点の集約や物流アウトソース等の構造的な変革

を軸に経営効率向上を図り、売上高販管費率20%以下の常態化を目指します。「グループシナジー」は、当期は連結子会社2社の収益改善に一定の成果が見られた為、今後は本社との連携、協業を深めて全社経営への貢献等、あるべき姿に近づけたいと考えます。

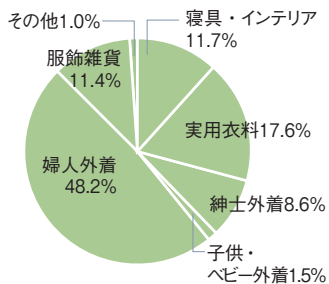
今後、営業面、管理面ともに変革を推し進め、来期の黒字化を必達するとともに、営業利益率3%以上の早期回復実現へ、グループ総力戦で取り組む決意です。

財務ハイライト

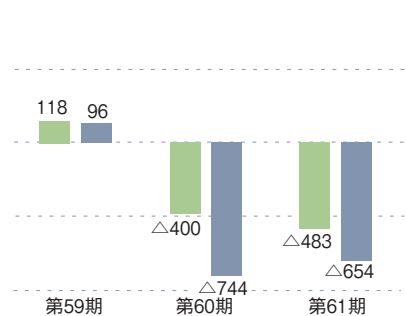
売上高 (■ 単体 ■ 連結) (百万円)



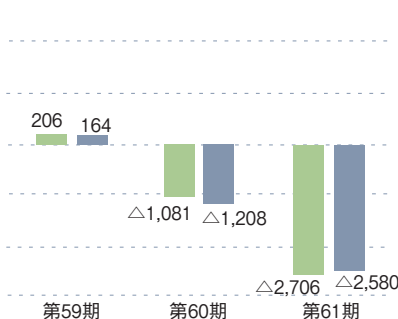
品目別売上高構成比(第61期・単体)



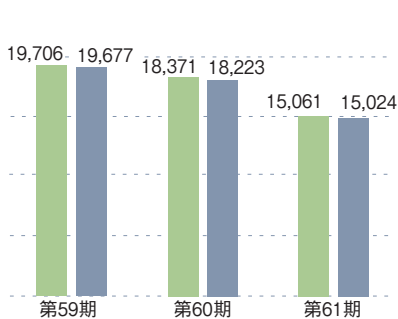
経常利益 (■ 単体 ■ 連結) (百万円)



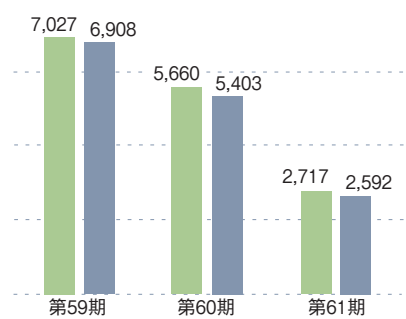
当期純利益 (■ 単体 ■ 連結) (百万円)



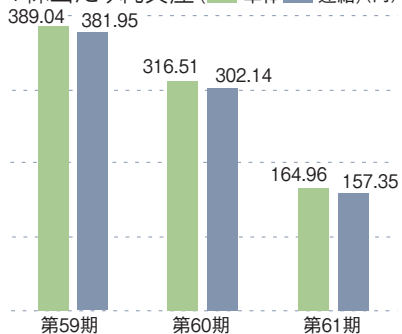
総資産 (■ 単体 ■ 連結) (百万円)



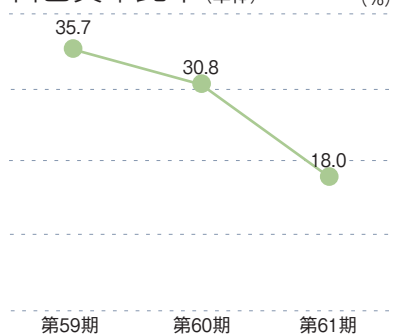
純資産 (■ 単体 ■ 連結) (百万円)



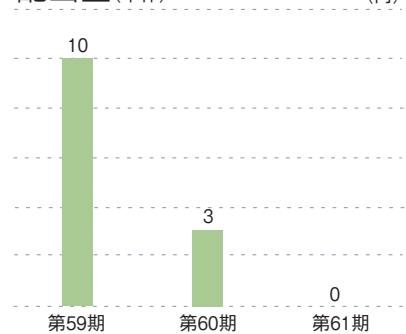
1株当たり純資産 (■ 単体 ■ 連結) (円)



自己資本比率 (単体) (%)



配当金 (単体) (円)



会社・株式会社データ (平成24年3月20日現在)

会社概要

会社名	株式会社プロルート丸光
創業	明治33年
会社設立	昭和26年3月27日
資本金	1,861,940,000円
従業員数	268名 (注) 上記の他に183名の臨時社員が在籍しております。
連結子会社	株式会社サンマル (紳士服、服飾雑貨等の小売業) 株式会社グローバルルート (衣料品製造販売および輸出入貿易業)

役員 (平成24年6月13日現在)

代表取締役社長	前田佳央
取締役(管理本部長)	安田康一
取締役(営業本部長)	酒井光雄
取締役	西山敏晴
常勤監査役	山本健太郎
監査役	皆見量政
監査役	山本良作

株式の状況

発行可能株式総数	32,600,000株
発行済株式総数	18,399,340株
株主数	1,092名

沿革

明治33年	大阪市西区靱町に「前田利右衛門商店」として創業
昭和26年3月	資本金350万円、大阪市東区南久宝寺町1丁目において、丸光株式会社を設立。呼称は「センイ丸光」
昭和34年9月	セルフサービス方式による総合衣料品前売現金問屋へ業態転換
昭和58年8月	新館(現大阪本店)開店。売場拡大とともに、靴、鞆、アクセサリー等の服飾分野に進出
昭和63年6月	商号を「株式会社プロルート丸光」に変更
昭和63年11月	株式を公開。日本証券業協会に店頭銘柄として登録
平成3年8月	東京店開店
平成6年5月	天理流通センター業務開始
平成14年4月	福岡店開店
平成16年3月	現大阪本店を取得し、自己所有とする
平成17年1月	株式会社サンマルを子会社化
平成22年2月	株式会社グローバルルート設立



本社・大阪本店
大阪市中央区久太郎町二丁目1番5号
TEL.06-6262-0303(代表)
土地面積 3,368㎡ 延床面積 31,370㎡



東京店
東京都中央区日本橋横山町6番地16号
TEL.03-3668-0103(代表)
土地面積 384㎡ 延床面積 2,339㎡



福岡店
福岡県福岡市東区多の津四丁目4番1号
TEL.092-629-0031(代表)
土地面積 1,078㎡ 延床面積 3,015㎡



天理流通センター
奈良県天理市二階堂上之庄町字芦田32
TEL.0743-64-2507(代表)
土地面積 7,703㎡ 延床面積 13,241㎡

株主メモ

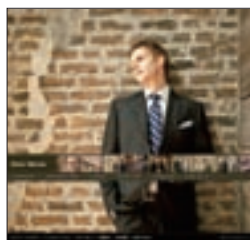
事業年度	3月21日～翌年3月20日
期末配当金受領株主確定日	3月20日
中間配当金受領株主確定日	9月20日※中間配当を行う場合
定時株主総会	事業年度末の翌日より3ヵ月以内
株主名簿管理人特別口座口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目 6番3号 TEL：0120-094-777 (通話料無料)
上 場 証 券 取 引 所	大阪証券取引所 ジャスダック市場
公 告 方 法	日本経済新聞

ご注意

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



プロルート丸光
企業サイト
<http://www.proroute.co.jp>



ケントハウス
ブランドサイト
<http://www.e-kenthouse.com/>

成長をめざす小売店さまのお仕入れルート



マークの意味

- 成長の願いをこめた上昇ライン
- 丸光のイニシャル、M
- プロルート= [道] のシンボル化
プロルートとは
- プロフェッショナル(小売店様)のお仕入れルート
- プロフィット(利益)への確かな道

株式会社 **プロルート丸光**

〒541-0056
大阪市中央区久太郎町二丁目1番5号
TEL 06-6262-0303 (代表)
<http://www.proroute.co.jp>

JASDAQ

(証券コード番号 8256)



この報告書は、環境に配慮し、
植物油インキを使用しています。